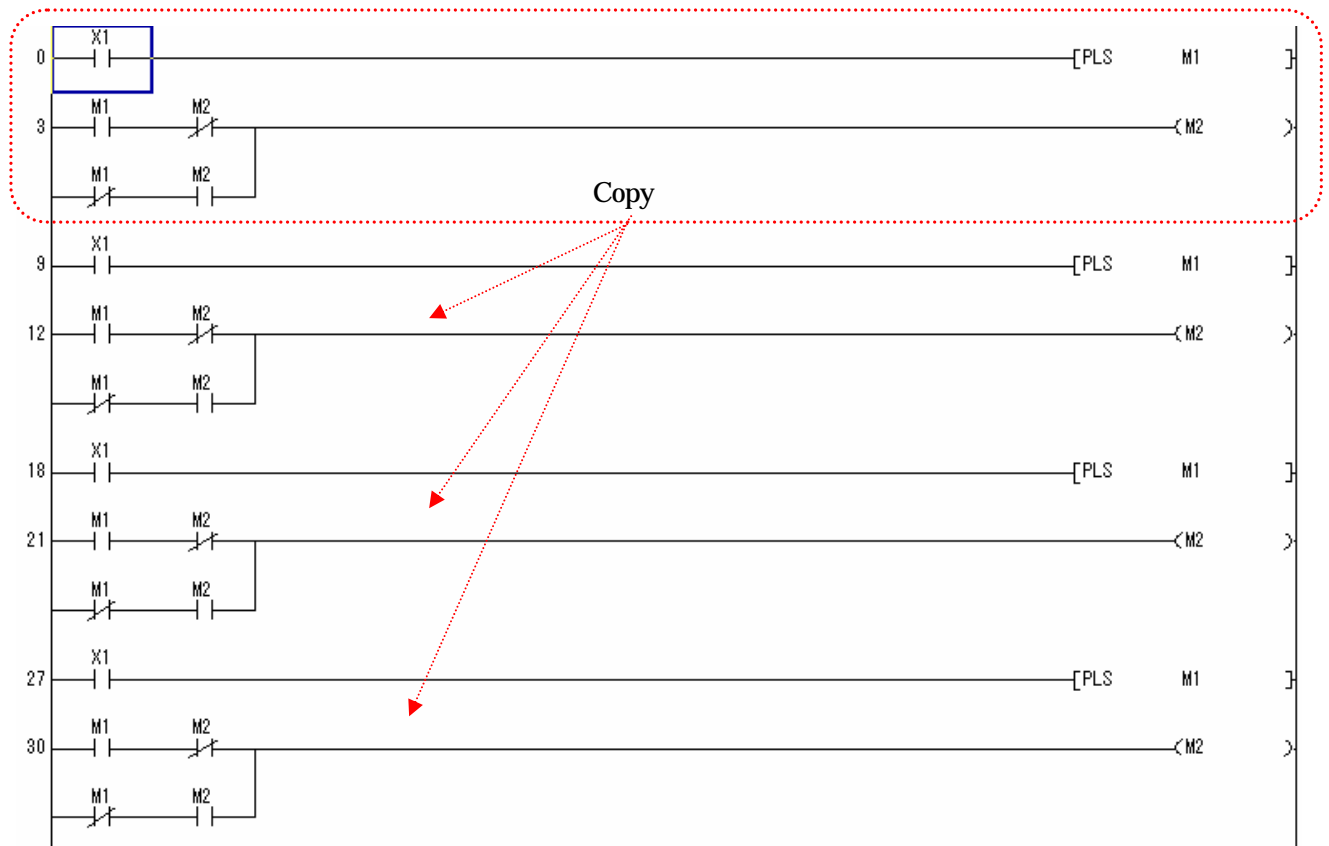


1. GX-Developer デバイス変更とは

三菱 GX-Developer 回路編集で、デバイスを置換する外部コントロールソフトです

2. 使用例

連続する同一ブロック回路を作成する場合、下記のように基本回路を作成し、Copy します



この状態で、「GXDevChg.exe」を起動し、各項目を設定します

X1 の次が、X2 であれば [変更前]:X1 [変更後]:X2 [増加値]:1 となります



[変更前]... X1 M1 M2 を入力

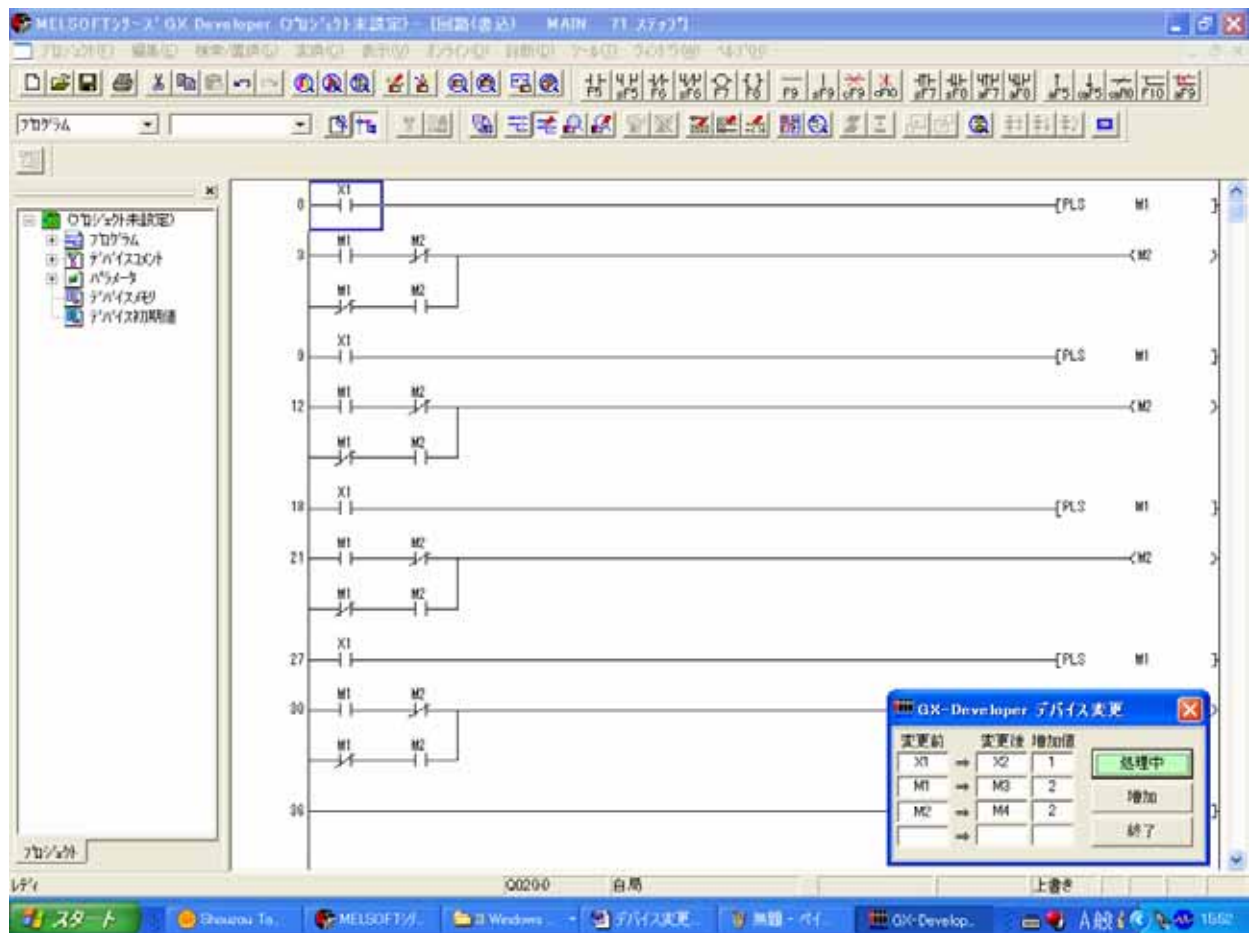
[変更後]... X2 M3 M4 を入力

[増加値]... この増加値は、1ブロック変更後に、「増加」PBを押すと、[変更後]値が増加値分だけ加算されます

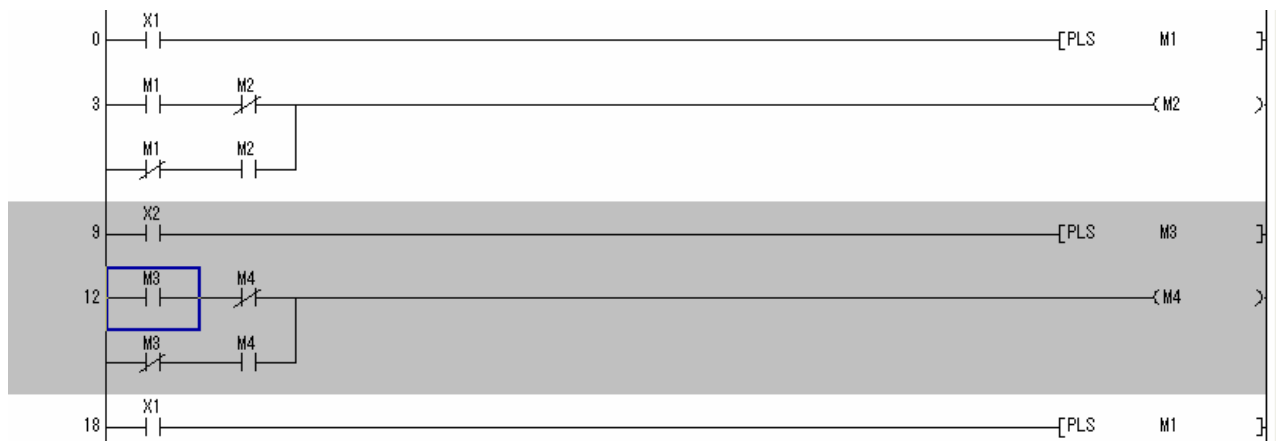


[増加]を押すと
M3 => M5
M4 => M6 となり、次の
回路ブロック用となります

[停止中] を クリックして [処理中] となれば、準備完了です



変更するデバイス上で、[Enter] または、[ダブルクリック] することで、変更後のデバイスに変わります



1ブロック入力完了したら、[増加]PB を押し、次の変更値を準備します
以降、繰り返すことで、デバイス変更が可能です。

一旦、処理を止める場合は、[処理中]を押し、[停止中]とします



あまり使わないかもしれませんが、MOV ⇒ MOVP や、応用命令内のデバイス値 も変更可能です

